

会社概要 (平成30年9月30日現在)

会社の情報

会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス
(Gamecard-Joyco Holdings, Inc.)
代表者 蒔田 穂高
所在地 〒110-0005
東京都台東区上野2丁目14番22号 さくらパークビル
電話 03-6803-0301 (代表)
事業内容 プリペイドカードの発行及び販売、遊技機用プリペイドシステム機器の企画・開発・販売・貸与及び保守等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯・関連する事業
資本金 55億円
従業員数 39名

グループ会社の概要

 日本ゲームカード株式会社	 株式会社 ジョイコシステムズ
会社名 日本ゲームカード株式会社	会社名 株式会社 ジョイコシステムズ
所在地 〒110-0005 東京都台東区上野 1丁目1番10号 オリックス上野1丁目ビル	所在地 〒110-0005 東京都台東区上野 2丁目14番22号 さくらパークビル
電話 03-5812-7570 (代表)	電話 03-5817-1555 (代表)
設立 平成元年8月25日	設立 平成13年3月13日
資本金 55億円	資本金 28億5,000万円
従業員数 132名	従業員数 22名

株式の状況 (平成30年9月30日現在)

株式の情報

発行可能株式総数..... 50,000,000株
発行済株式の総数..... 14,263,000株
株主数..... 11,088名

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日

定時株主総会の
議決権
期末配当 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便番号 168-0063
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

公告掲載方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL
<https://www.gamecard-joyco.co.jp/>
なお、事故その他やむを得ない事由によ
って電子公告によることができない場合
は、日本経済新聞に掲載して行うものと
します。

単元株式数 100株
証券コード 6249
上場証券取引所 東京証券取引所
JASDAQ (スタンダード)

主幹事証券 のご案内

当社グループの主幹事証券会社として大和証券グループ様にご協力を頂くこととなりました。新しい体制の下、IRに加え、SRにも一層力を入れて参ります。

大和証券
Daiwa Securities

楽しさをカードに込めて・・・ つながる ∞ 広がる



第8期

ホームページのご案内



詳しくは上記QRコードより当社IRサイトを
ご覧ください。

<https://www.gamecard-joyco.co.jp/ir/>

第2四半期 株主通信

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



HOLDINGS

株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス

証券コード6249



トップメッセージ



代表取締役社長
 蒔田 穂高

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、先般の平成30年7月豪雨、台風21号並びに北海道胆振東部地震により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早

い復興を心からお祈り申し上げます。

ここに第8期第2四半期(平成30年4月1日～平成30年9月30日)の当社の業績状況及び通期見通し等についてご説明申し上げます。

第2四半期業績の状況

当社グループの主な顧客先であるパチンコホールにおいては、本年施行された風営法施行規則等の改正やギャンブル等依存症対策基本法案による影響の下、娯楽の多様化によるパチンコファンの減少が続いており、依然として厳しい状況にあります。しかし、低玉貸し営業の定着及び改正後の風営法施行規則等に則し、射幸性が抑えられた遊技機の普及により、社会的ニーズである「のめり込み防止」へ繋がることも期待されます。

このような状況下において、当社グループは前期より「構造改革の完成と効果の最大化」をテーマとし、経営のスリム化に取り組んでおります。また、営業活動においては、加盟店シェアの維持・向上の目的で、販売代理店との関係強化や既存加盟店の入替推進を行い、研究開発においては、「のめり込み防止」や新規則に沿った製品の開発を進めると同時に、継続的・安定的なサービス提供のための企画・開発も進めております。

これらの取り組みの結果、当第2四半期におきましては、ほぼ前年同期並みの売上高を確保しましたが、加盟店舗数の減少及び販売単価の低下などにより、利益面では減益となりました。

下期の取り組み

下期につきましても、パチンコホールを取り巻く経営環境は依然として厳しく、設備投資に慎重な姿勢が続くものと想定されますが、上期と同様に、経営のスリム化を推進しつつ、下記の課題に取り組み、将来のパチンコ市場の変化に対応し得る体制を強化して参ります。

ポイント

POINT1

加盟店シェアの維持・向上を図るための積極的な営業施策

POINT2

社会的ニーズである「のめり込み防止」や新規則に沿った製品の開発

POINT3

ホール経営に資する継続的かつ安定的なサービス提供のための企画開発

通期見通し

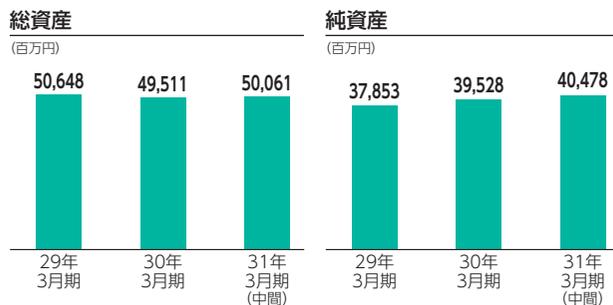
パチンコホールを取り巻く市場環境の不透明感は続くものと想定されますが、当初予想を上回る売上高を確保する見通しとなったこと、また、一部の開発計画が来期以降へずれ込む結果、通期見通しを下記の通り変更しております。

■ 連結決算ハイライト

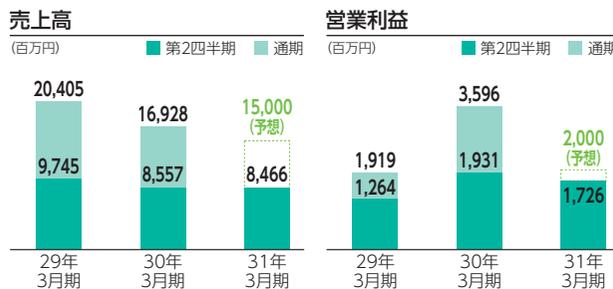
	平成31年3月期 第2四半期	平成31年3月期 通期予想
売上高	8,466百万円 (前年同期比 1.1%減)	15,000百万円 (前期比 11.4%減)
営業利益	1,726百万円 (前年同期比 10.6%減)	2,000百万円 (前期比 44.4%減)
経常利益	1,727百万円 (前年同期比 10.4%減)	2,000百万円 (前期比 44.4%減)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,177百万円 (前年同期比 15.9%減)	1,400百万円 (前期比 39.6%減)
一株当たり配当金	17.5円	17.5円 (年間 35.0円)

連結財務諸表

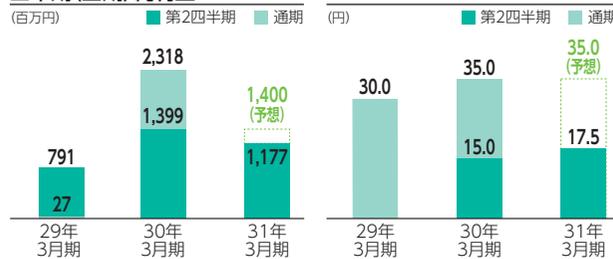
連結貸借対照表関係



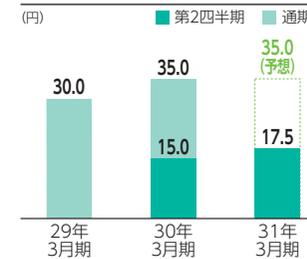
連結損益計算書関係



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



一株当たり配当金



主な経営指標の推移

